

今年で ほのぼのまつり(6月1日開催) 22回目を迎えることが出来ました！



仲間のステージ！



掘り出し物はあったかな？

当時は、夏のような暑さの晴天の中で行われました。

法人内各作業所のお店や周辺地域の福祉関係団体のお店、日用品や衣類詰め放題のバザー、毎年好評のCoco壱番屋さんのカレー販売など、朝早くから賑わっていました。

今年のステージも好評で、ゲストの皆さんのお出し物や仲間の出し物を観られた地域の方々より「とても良かったよ。」という感想も聞けて、嬉しかったです。屋内企画では喫茶コーナー、ダンボール工作、似顔絵、福祉情勢展示コーナーなどそれが賑わっていました。

ボランティアの方々、バザー用品をご提供してくださった方々、今年も花を寄付していただいた藤田う月さん、他たくさんの皆さんに支えて頂き、当日来場していただいたたくさんのお客さんのおかげで、大盛況のうちに無事、おまつりを終える事ができました。ご協力、本当にありがとうございました！！



仲間のお店



金魚、何匹とれたかな？

第22回ほのぼのまつり福祉バザー

収益

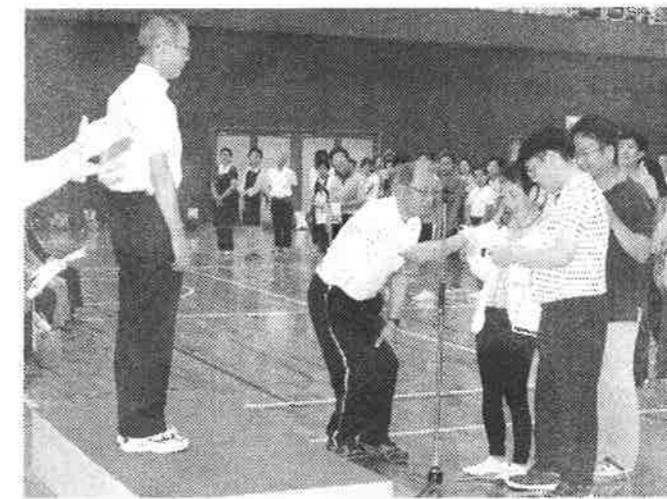
《日用品》	186,950円
《衣類》	28,800円
《食べ物》	72,418円
《3品100円》	39,700円
《水風船》	21,400円
《花》	20,100円
《古本》	14,390円
合計	383,758円

上記収益に加えCoco壱番屋さんよりカレー販売収益として80,000円のご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

きそがわ福祉社会だより

地域の中でともに育つ事業所めざして

2014年8月15日発行 №89



開会宣言をする、きそがわ作業所の仲間 ▲

今年も7月6日(日)に一宮市障害者スポーツ大会が一宮市木曽川体育館にて開催されました。
（主催：一宮市・一宮市社会福祉協議会）
今年は開会宣言をきそがわ作業所からという
ことで、代表の仲間2名による開会宣言で幕を開けました。2人とも少ない練習時間ではあります
たが、堂々と大役をこなしてくれました。
当時はとても暑い1日でしたが、地域の方々と
ともに、綱引きや玉入れ、特にみんなが毎年楽し
みにしているパン食い競走など、様々な競技に参
加しました。
どの競技も真剣！ みんなで楽しく心地良い
汗を流してきました。

発行：社会福祉法人きそがわ福祉会

〒493-0006 愛知県一宮市木曽川町内割田一の通り12番地3

電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937



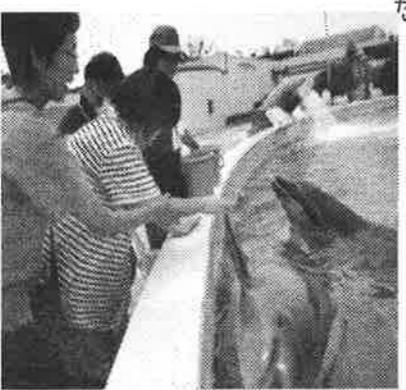
去る、6月27～28日と7月17～18日と二班に分けて一泊旅行に出かけました。今年の一泊旅行は一日目が南知多ビーチラング、二日目がリニモに乗つてトヨタ博物館、昨年からずっと待ち遠しいイベントで今年も無事に計画して行く事が出来ました。

1泊旅行

伊豆の旅行の感想コーナー

・ 南知多ビーチラング

イルカにタッチして良かつた
かわいいし、かっこ良かった
アザラシも触ったよ。
によぶによとして気持ちよかったです。



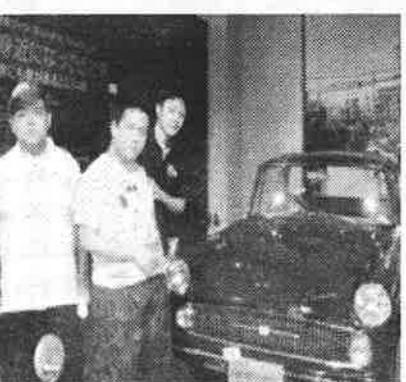
・ 宿 活魚の美舟

鯛のせしみを初めて食べただけ、身がコロコロしていて美味しかった。他の料理も全部美味しかったよ。仲居さんもとても親切で嬉しかった。



・ リニモ

リニモの静かさにビックリ。
いつか、運転してみたいな。
かっこいいお兄さんに席を譲つてもういうつとり。また、乗



昔の車が懐かしい、たくさん
の車を見て驚いた。お土産でラ
ンボルギニーをゲット。いつも
うつとり眺めじみ。

無事に終えればかりの一泊旅
行ですが、「来年はね」と
期待高まる声が多い今日この頃
です。

「精神科病棟の居住化」は「地域移行」に逆行

厚労省の精神科病棟居住化容認に抗議の声

厚生労働省が設置する「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会」が、7月1日の第4回会合で「精神科病棟転換問題について、地域生活へ移行することを原則としながらも、現在入院している患者を対象とする等の条件を付した上で、自治体と連携して試行的に実施し、その運用状況を検証する」との結論を出しました。

今回の「結論」は、「病院内でも地域移行」と呼ぶことを制度化してしまうことにもなり、日本中の精神障害関係者及び障害者団体からの抗議の声が出されています。精神科病院に長期入院している患者さんの退院を促すために、空いた病棟を居住施設に改修し住まわせ、これを「退院」と解釈してしまうのは極めて疑問と思われます。

障害者権利条約の理念に逆行
今年1月に批准した障害者権利条約の条項では、障害者が他の人と平等であることを大前提に、住みたい場所に住み、誰と生活するかを選択でき、特定の施設で生活する義務はないことを明確にしたつた部分があります。
精神科病棟を居住施設に転換する構想は、障害者権利条約の理念に逆行していると思われます。



イラスト：きょうされんTOMO 5月号より

「アパートなら表札をつけてもいいんだよね」

集会では、当事者や家族や支援者など、様々な立場の方が登壇をされ、お話をされました。そんな中で、社会的入院を経験してきた当事者の方の「外からは、力ギをかけられるのはいやだ。力ギは、内からかけるものだ。」「好きなものを自由に食べられない生活はもういやだ。」「住みたいところで、住みたい人と一緒に住みたい。」といった、精神科病院での入院生活がいかに、人間らしさを失わせてしまったかを改めて知る機会もありました。

自分が関わっている方の中で、精神科病院に長く入院されていて、退院後の住み慣れた場所でやっとアパートを借りることが出来た時に、「表札をつけてもいいんだよね。」と発した方がいました。この言葉を思い出しながら、病棟を転換した居住施設では、本当の地域移行では無いと改めて感じた取組でした。



6月26日に、日比谷野外音楽堂で行われた、精神科病棟転換型居住施設に反対する緊急集会（主催は、精神障害者関係団体等で構成する「病棟転換問題居住施設について考える会」）へ参加しました。当日は日本全国から3200人が集まり、病棟転換問題に對して反対を表明し、代表が緊急アピール文を厚労省へ届けました。

「生活をするのは普通の場所がいい
STOP / 精神科病棟転換型居住施設
6・26緊急集会」に参加して

ホーム関係のページ

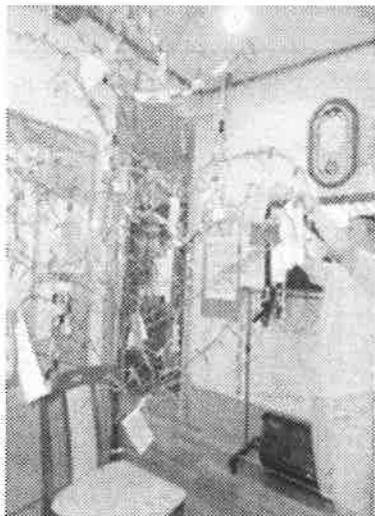
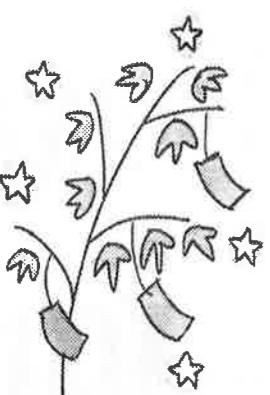


★ 長良川鵜飼見物
夕食が終わると車に乗り込んで向かう先は岐阜の長良川河畔。「鵜飼見物」に出発です。長良川岸辺に腰かけると、「ピーン！」と花火があり、みんなびっくり！
そして上流からゆっくりと、かがり火を灯した船がやってきます。目の前で鵜が泳いで魚を捕る様子がよく見えました。いつもははしゃいでいる仲間も、いつの間にか暗闇に浮かぶ灯りに見入って静かに鵜飼見物ができました。夏の風情ある気持ちの良い夜のひと時でした。



七夕

★
七夕
七月七日の七夕を前にホームでも
笹の葉を飾り付けています。仲間の
みんなは思い思いに願いごとを書
き、きれいに仕上げてくれました
よ。普段ないものなので興味津々で
した。今年もホームの仲間のみんな
が楽しく過ごせぬようにお願いし
まーす。



ジュー・ジュー音を立てながら、いい匂いのするお肉の前に大変な行列ができていました。用意した食材があれよあれよと無くなりました。みんなペロリと完食！最後にチザートも食べて大盛況で終えることができました。

★ 田田田田Q(ハーベモ)

今年も開催しましたBBQ!
天気も良好、風も程よくあり絶好の日となりました。作業所から帰ってきたら、すぐさま第五北方ホームに移動です。そこには、お祭りのようにセットされたBBQ会場、仲間たちは並

第二きそがわ作業所のページ



忙しい夏の始まりです！園芸班は日々大きくなる、きゅうりやなすの収穫に追われる毎日です。暑さは日々厳しくなり、雑草もどんどん伸びています。そんな中でも、汗をいっぱいかきながら畠作業をがんばっています。定番の夏野菜から、モロヘイヤ、アスパラガスなども丹精込めて育てています。毎週月曜日と木曜日にはなごみの広場に、仲間達と作った野菜が並んでいるので、みなさんは是非お越しください。

少林易筋經

毎度お世話になります。

BAKERY ダイニー です！

お久しぶりのごあいさつです。 第二きそがわ作業所のパン屋 BAKERY ダイニーは、「なごみの広場」（毎週月曜日）、「Cafe KURODA」（第2・4水曜日）の場をお借りしてのパン販売をしています。お店に並べてもらえるのは本当にうれしいことです。

尾西地区にある「ゆうゆうのやかた」での出張販売ではこんな素敵な高原のプチテラスのような一室をお借りします。でもいかんせん、こちらは裏庭で人の流れがなかなかうまくいきません。月に1回それもほんの30~40分のお店ではよほどプレミアムなことがないとお客様に来ていただく事は難しいですね。パンもだいぶ上手に作れるようになって、次にどうみなさんアピールできるか熟考しなくては!!

また出張販売では豊田合成尾西工場、トヨタ紡織木曽川工場、コムネックスみづほの皆様に、変わらずごひいきにしていただいている。ありがとうございます。



「な」みの広場のお客さま



ウキウキグループは、毎日ダンスしています。「この写真は、ゴールデンボンバーの「女々しくて」を踊っているところです。朝から汗をかくとともに気持ちいいです。

DANCE

